

創立50周年記念を迎えた年に



東京八王子ロータリークラブ
第50代会長 滝島 克明

記念すべき50周年を迎えた年に、伝統と歴史のある東京八王子ロータリークラブの会長を努めさせて頂き、身に余る光栄の事と同時に、責任の重さを痛感した1年間でありました。

今年度、クラブテーマを「22世紀へ、夢をかたちに、気持ちを行動に」と掲げ、記念すべき年に相応しい、心に残る1年にしたいとの想いで活動を進めてまいりました。温暖化、エネルギー、水、食料、世界の人口分布、様々な事が複合的に絡み合っていて影響し合い、一方向からだけで解決するのは難しく、22世紀に向かって、過ぎた50年とは大きく変わっているのではないかと考えられます。その様な状況の中、何を感じ、何を表現するか、ロータリークラブはどの様な役割を担うかを明確にし、実現して行かなければならないと思います。その様な中、全会員の皆様にご理解と心からのご協力を頂くと共に、多くの皆様にご協力を頂きました。お蔭様でクラブの活動、50周年記念事業、共に計画を進めることが出来ました。心より厚く感謝申し上げます。

創立50周年記念事業の意義は、

1つには、

初代、新倉源蔵会長に始まり歴代会長のもと、ロータリー精神に基づき、会員が一丸となり、奉仕活動を行った足跡を振り返り、検証し、記録として後世に伝える事。

2つには、

今年度、RI・リー会長のテーマは「夢をかたちに」であり「子どもたちに将来への希望と夢を与え、その命を救うことです」とあります。私たちは、リー会長の理想に感銘し、共感しました。そして、今年度のクラブテーマを「22世紀へ、夢をかたちに、気持ちを行動に」と致しました。50周年を迎える年に当たり、よき歴史と伝統を受け継ぎながら、クラブ一丸となり、活動し成果を上げることが出来ました。

3つには、

22世紀に向かって、子どもたちが育つ環境や地球環境は、過ぎた50年とは大変な違いが有ると考えられます。西澤潤一先生にご講演をいただく中で、今後のロータリー活動に大きな示唆を与えて頂けたと思います。

私たちは、50周年を期に、更にロータリーの心を磨き、22世紀に向かって、奉仕の理想を追求して行かなければと考えております。そして、地域社会に期待され、親しまれるクラブとして活動をして参ります。今後とも東京八王子ロータリークラブに変わらぬご指導ご鞭撻を頂きます様お願い申し上げます。

東京八王子ロータリークラブ 創立50周年記念式典及び 第2452回例会を迎えて



東京八王子ロータリークラブ
創立50周年事業実行委員会
実行委員長 矢野洋四郎

本日、実行委員長という大役をおおせつかりました矢野でございます。本日は多数のかたがたにご臨席たまり、まことにありがとうございます。

私どもは、1959年に出発をいたしました。この当時東京北クラブの塚本峰吉さんが特別代表としてご尽力をくださり私たちのクラブが出来ました。塚本さんはもうお亡くなりになったと思いますし、私たちのクラブにも50年前を知るチャーターメンバーは全員お亡くなりになり一人もおりません。発足当時を知る人は居なくなりましたが、その後このクラブは順調に進んできて、今から10年前、創立40周年の年には、会員数105人となり100人を超えていました。その後景気の後退もあり減少してしまい、50周年の本年は63名であります。最盛期の半分近くになってしまいました。しかし、また少しずつ増えており、また増やしていかなければいけないと思っております。

創立50周年にあたって、私たちはいろいろな記念事業を行いました。プログラムに記されていますように、カンボジアのバタンバン州への支援、地元八王子市への寄付などを行いました。これらの内容については、あとで説明もございますのでご覧になっていただきたいと思えます。

これまでの50年間、東京八王子ロータリークラブは色々な事業や奉仕活動を行ってきました。これから50年後には、ここにいるほとんどの人はいなくなっており、また新たな人たちが100周年をお祝いしているのではないかと思います。そのように順々に続いていくことが素晴らしいことだと思います。

今後とも東京八王子ロータリークラブをよろしく願い申し上げます。

2008－2009年度 国際ロータリー
李東建会長から東京八王子ロータリークラブへの
お祝いメッセージ



2008－2009年度 国際ロータリー
会長 李東建



HONORING 50 YEARS OF
MEMBERSHIP IN ROTARY INTERNATIONAL
The Rotary Club of
Tokyo Hachioji, Tokyo, Japan
admitted 15 June 1959
is recognized for its dedication
to the Object of Rotary and its commitment
to the ideal of Service Above Self.

Date: 12 June 2009


Li Dongjian
President, Rotary International

ROTARY INTERNATIONAL

2009年4月10日



東京八王子ロータリー・クラブ
会員の皆様へ

D.K. Lee
President, 2008-09
Fax 847.866.3390

拝啓

この度、貴クラブが50周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

今から50年前、地域社会へ奉仕するというロータリーの理想を尊び、これに賛同した貴クラブの創立会員が、八王子市にロータリー・クラブの基礎を築かれました。時を経て今日、貴クラブは地域社会のボランティア、そして事業・専門職に携わる人々からなる巨大な国際的ネットワークの一員となりました。今年度、皆様の多くは世界中で子供の死亡率を減らすためのプロジェクトを実施することに焦点を当てられていることと思います。私たちが一体となるとき、成し得ないことなど何もないということ、どうか忘れないでください。

私たちは、地元社会、ひいては遠く離れた海外の地域社会において、すべての子供に将来の希望とチャンスを与えなければなりません。ロータリーがなければ、子供たちの日々のニーズが満たされることはないのです。だからこそ、世界中の子供たちの生活をできる限り改善すべく、水、保健と飢餓、識字率向上といった分野における近年の取り組みで私たちが培ってきた知識を生かし、また、ほかのロータリアンにも同じく行動を起こすよう激励していただきますよう、皆さまにお願い申し上げます。次です。

貴クラブの歴史における重要な節目を祝うと同時に、子供たちにきれいな水、健康な生活、教育の機会を与えられるようなプロジェクトを計画し続けていただきますようお願いいたします。クラブ同士が協力し合い、必要とされていることを実行に移さなければなりません。

子供たちが安全でのびのびと育ち、健康で長生きできるよう、今年度、私とともに、どうか「夢をかたちに」のテーマを実践していただきますようお願い申し上げます。

敬具

李東建
2008-09年度 RI 会長

DKL/mo

写: 第 2750 地区ガバナー 新藤 信之 殿

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, Illinois
60201-3698 USA
ph 847.866.3000
fax 847.328.8554
www.rotary.org

東京八王子ロータリークラブ 創立50周年に寄せて



国際ロータリー 第2750地区
ガバナー 新藤 信之

東京八王子ロータリークラブ創立 50 周年おめでとうございます。今日の記念すべき日を迎えられた会員の皆様、そして家族の皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

貴クラブは、1959 年 5 月 8 日、多摩地区に初めてのロータリークラブとして創立された伝統あるクラブです。創立された年は、日本が戦後復興期から高度成長にさしかかろうとしていた年です。今日まで 50 年の長きに亘り、地元地域社会と共に堅実に成長され、数々の奉仕の世界を拓げながらその歴史を刻み続けていることに、敬意を表すると共に、これまでのご指導に対し感謝を申し上げます。

貴クラブ 50 年の歴史は、昔の人の一生の営みに匹敵する、一言では言い表せない、いくつもの宝玉が刻まれた歴史です。中でも、多摩において、立川、青梅、日野、八王子西、八王子東の 5 つのクラブを拡大し、その下に 24 の孫クラブが誕生し、多摩におけるロータリーの発展

に寄与した功績は衆目の一致するところですが、また設立当初、新聞少年や働く障害者を激励したり、富士森公園に染井吉野桜や市民会館前につつじ花壇・いちよう植樹をした地域社会での奉仕活動、そして、児童の絵画・手芸品の海外クラブとの交換や高尾薬王院での留学生招待交換会、青少年交換学生・米山奨学生の率先した受入を初めとした国際社会での奉仕活動は、今では子・孫クラブの模範となる奉仕活動となっておりますし、今回の 50 周年記念事業の中にも「ロータリーの心」として脈々と生き続けていることはすばらしいことです。

ロータリーは時代と共に変化し続けておりますが、ロータリーの中核となる「親睦」と「奉仕」の価値は変わりません。しかし、時代の変化と共に、その親睦と奉仕の内容は変えていかなければなりません。国際ロータリーは 1960 年代半ばから 1970 年代半ばにかけて、新世代プログラム、R 財団プログラム始め多くのプログラムが開発されました。戦後日本のロータリーの第一拡大期にあたる国際ロータリーの飛躍・発展した時代です。1980 年代半ばから 1990 年代半ばにかけて、会員増強とクラブ拡大が推進されましたが、地区リーダーシップ・プランが考案され、国際ロータリーの管理機構の再編が始まった第二拡大期でした。

2009 年の今日、日本ロータリーは会員減少傾向に未だ歯止めが掛からず、むしろクラブ単位の会員数が減るといふ「クラブの小粒化」現象が生じています。この 50 年の歴史を振り返る時、「歴史を知ることは、より良く未来を透徹できる」という先達の言葉を思い出し、新世紀の親睦と奉仕にあり方を考え、心新たに次の 60 周年に向けた奉仕活動を展開していただきたいと思います。そして、地元の人達と共に歩み、地域社会に愛されるクラブとして、多摩地区のロータリークラブのリーダーとして、ますます発展されることを祈念致します。

東京八王子ロータリークラブ 創立五十周年を祝して



八王子市長
黒須 隆一

このたび東京八王子ロータリークラブが創立五十周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。滝島会長をはじめとする多くの方々の御努力が実を結び、この記念すべき時を迎えることができましたことに、改めて深く敬意を表する次第です。

貴クラブは、積極的に社会奉仕に取り組まれており、これまでにすばらしい成果をあげられてきました。

貴クラブにおいては、毎年、市社会福祉協議会へ御寄付を頂いておりますが、五十周年の節目を記念してカンボジアの山村集落に飲料水を運ぶためのトラクターを寄贈されたことをお聞きし、まさに国際的に活動されていることを改めて認識させていただいたところです。

また、この五十周年を記念して本市に二つの御寄付を頂きました。一つは、音楽のまちづくりを目指し本市が設置した「若きチェリスト育成基金」。これは、市民の皆さんと本市が協働で平成十八年に第一回目をを行い、今年第二回目を開催する「ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール」の大事な財源となります。そしてもう一つは、大横町にあるサイエンスドーム八王子に新たな展示装置をいただきました。昨年導入しました最新のプラネタリウムとともに、多くの方に御利用いただきたいと思っております。

貴クラブの皆様には、このような新たな時代を育むための御寄付をはじめとして本市のまちづくりのために多くのご支援を頂いていることに、この場をお借りしてお礼を申し上げますとともに、創立より五十周年の節目を迎え、貴クラブと会員の皆様の今後の益々の御発展を祈念いたしまして、御祝いの言葉といたします。